

野党保守系は基本法案

行使容認を明確に 再編もにらむ

民主党や日本維新の会、結いの党など野党の保守系議員らでつくる議連盟「外交・安全保障政策研究会」が、集団的自衛権の行使を認める「国家安全保障基本法案」は検討した。現在は政府

の国会提出を検討していることが21日、分かった。

安倍政権は集団的自衛権の行使に向けて憲法解

が憲法解釈を変更した後、自衛隊法など個別の関連法を改正する段取りを描く。野党の保守系議

を保守系を糾合した野党再編への布石にする思惑がある。自民党は2013年参院選の公約で基本

法の制定を明記してお

り、同議連には保守カラ

ーを強める安倍政権を搖

さぶる狙いも見え隠れす
加。民主党の長島昭久氏
や維新の山田宏氏ら安全
保障政策に積極的な議員
が多い。議員立法の提出

議連会長の長島氏は日本経済新聞の取材に「時

間はかかるかもしれない
が議連で基本法案を出し
たい」と語った。

一方、民主党の海江田万里代表は21日のBS朝

日番組の収録で、3月に集団的自衛権の行使に関する中間段階の見解を

議連には約50人が参

る。

まとめた考え方を示した。

6月22日が会期末の今国会中に政府への対案を決める意向も明らかにした。同党執行部は集団的自衛権の行使は憲法改正によって規定すべきだと

方向で意見集約を進めている。